

今川公園 好循環通信

vol. 11 【今日も明日も 好循環！

】

今川公園の面積は、およそ8万平方メートルあり、草地広場や野球場の外野を含めて約7割が緑に覆われています。この、緑の中には「サクラやツツジなど」の木本類と「芝生やスミシなど」の草本類があります。今川公園には約100種類の木本類があり、草本類はまだ調査中ですが50種類以上ありそうです。これらの植物は、それぞれに自分に合った季節に花を咲かせ、実をつけて、風や鳥たちが広い範囲に種を運んでくれます。このおかげで公園内のいたる所で、いろいろな種類の実生苗を見ることが出来ます。これらの苗から自然界で選ばれたものだけが、次の世代の緑を構成してゆきます。

また、春から夏にかけて園内のいたる所にいろいろな草（雑草と呼ばれる）が繁茂しいろいろな昆虫が生まれ、その草の種や昆虫を食べに鳥たちが集まり、豊かな自然環境が形成されます。そのために、一律に草刈り作業をするのではなく、時間差で刈る場所を選びながら行い、昆虫や鳥たちの生育環境を残しています。

なによこれ、おいしいの？



この写真は、1,2年生の実生苗で
①アラカシ ②マテバシイ ③シラカシ
④コナラ ⑤ヤマモミジ です。このほかに
もたくさんの実生苗が出番を待っています。



今川公園 指定管理者 緑とコミュニティーグループ